

ラジオカセットコーダー

取扱説明書

Operating Instructions (page 52)

사용설명서 (64페이지)

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



WALKMAN

“ウォークマン”、“WALKMAN”はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。



はソニー株式会社の商標です。

WM-GX788

安全のために



- 充電スタンドにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かないください。充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。
- 付属の充電式電池を持ち運ぶときは、必ず付属の充電電池ケースに入れてください。ケースに入れずにコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、電池の+と-がショートし、発熱することがあります。
- 乾電池や乾電池ケースはコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の+と-、または乾電池ケースの端子が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ラジオカセットコ-ダ-の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

目次

主な特長	4
付属品を確かめる	5
準備する	6
録音する	8
テープを聞く	13
ラジオを聞く	16

テープを聞く - 応用

本体で操作する	19
好きな曲を頭出しする (AMS - オートミュージックセンサー)	20
テープ走行のしかたを選ぶ (PB MODE)	21
テープの再生スピードを調節する (スピードコントロール)	22
指定した区間を繰り返し聞く (A-B区間リピート)	23
テープカウンターを使う	25

ラジオを聞く - 応用

自分で周波数を合わせて聞く (マニュアル選局)	26
いつも聞く放送局を記憶させてから聞く (プリセット)	27
記憶させた放送局を聞く (プリセット選局)	30
ラジオを聞くときのご注意	32
海外でラジオを聞く	33

その他の機能を使う

高音または低音を強調する (SOUND)	34
音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS - 快適音量)	35
誤操作を防ぐ (ホールド機能)	36

電源

乾電池・充電式電池の取り替え時期は	37
コンセントにつないで使う	39

その他

お手入れ	40
使用上のご注意	41
故障かな?	44
保証書とアフターサービス	46
主な仕様	47
各部のなまえ	48

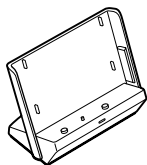
主な特長

- テープの再生スピードを約 + 20% ~ 約 - 15%の範囲で速めたり遅めたりできる、再生スピード調整機能(スピードコントロール)。(22ページ)
- テープ速度を半分にしてテープを2倍の時間使える、録音 / 再生時間2 × (2倍)モード。おけいこや、語学学習にたいへん便利です。(9ページ)
- 聞きたいところをすぐに見つけられる、キュー&レビュー。
- 付属のステレオマイクまたはラジオからの、オートリバース録音機能。(8ページ)
- テープに合わせて選べる3種類の音質、REVIVE、MEGA BASS、
グルーブリバイブ、メガベースGROOVE。(34ページ)
- 16倍速の高速サーチで、前後9曲の頭出しをするAMS。(20ページ)
- 充電式電池と乾電池の併用で、約70時間の長時間再生ができる、スタミナタイプ。(38ページ)
- 使いやすい、バックライト付き液晶リモコン。
- 語学学習に威力を発揮する、A-B 区間リピート機能。(23ページ)
- テープカウンター表示。(25ページ)

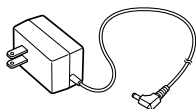
本機の2倍モード(2.4cm/s)で録音したテープは、2倍モードのないカセットプレーヤー/テープレコーダーでは正しく再生できません。

付属品を確かめる

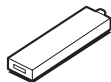
- 充電スタンド



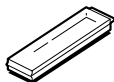
- ACパワーアダプター
(充電スタンド用)



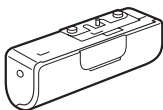
- 充電式ニッケル
水素電池
NH-14WM (A)



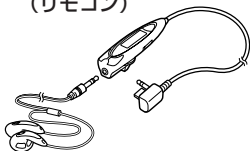
- 充電電池ケース



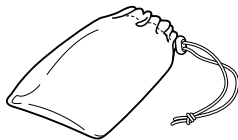
- 乾電池ケース



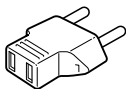
- リモコンつきヘッドホン
(リモコン)



- キャリングポーチ



- ACプラグアダプター



- ステレオマイク
- 取扱説明書
- ソニーご相談窓口のご案内
- 保証書

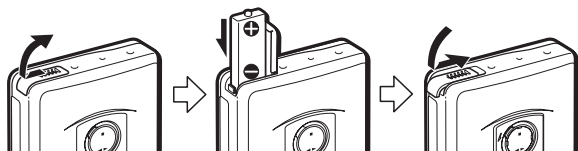
準備する

お買い上げ時には、充電式電池をまず充電してください。

コンセントでの使いかたは、「コンセントにつないで使う」(39ページ)をご覧ください。

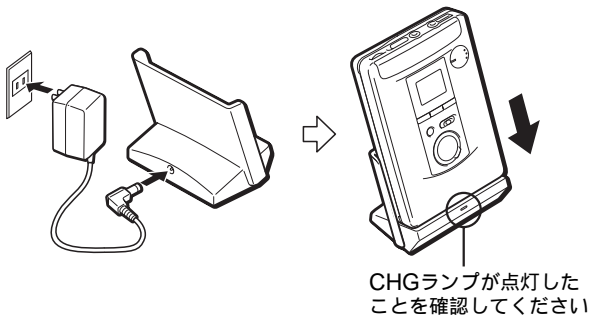
1 充電式電池を本体に入れる

⊖側を奥にして
入れる



2 充電する

ACパワーアダプター(付属)



充電スタンド用ACパワーアダプターがコンセントと合わないときは、ACプラグアダプターをお使いください。

約6時間で充電が完了し、ランプが消えます。

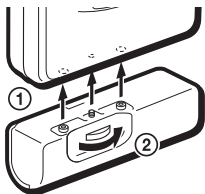
! 充電中は使用しないでください。ご使用になるときは充電スタンドからはずしてください。

- 充電スタンドにのせたまま操作をすると充電式電池が充電されません。
- 充電スタンドにのせたまま操作をすると正しく動作しない場合があります。
- 本体に充電式電池を入れずに充電スタンドにのせないでください。正しく動作しない場合があります。

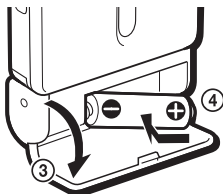
乾電池で使うときは

別売りのソニーアルカリ乾電池(単3形)を1本入れます。

充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。



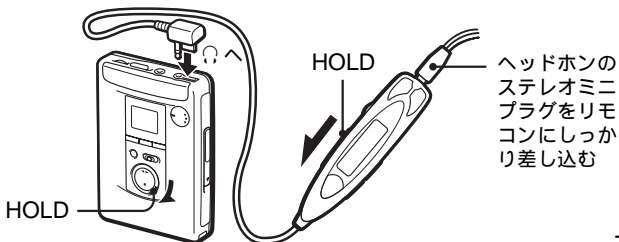
乾電池ケースを
本体に取り付ける



図のように必ず⊖側から
入れてください

3

リモコンをつなぎ、ホールドを解除する



録音する

オートリバース録音ができます。

録音には、TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

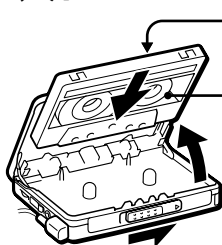
ご注意

- ツメが折れている面には録音できません。(「大切な録音を守るには」(12ページ)参照)
- 録音するときは、なるべく新しい乾電池や十分に充電した充電式電池をお使いください。
- 本機の2倍モード(2.4 cm/s)で録音したテープは、2倍モードのないカセットプレーヤー/テープレコーダーでは正しく再生できません。

1 カセットを入れる

- ① OPENつまみを矢印の方向にずらす

- ② ふたが少し開いたら、手でふたを開ける



ふた側 (FWD)

本体側 (REV)

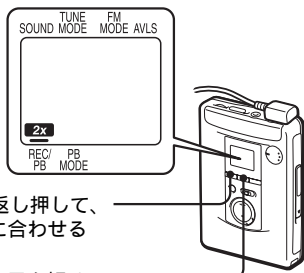
- ③ テープのたるみを取ってからテープ側を奥にして奥まで確実に入れる

録音する面	カセットの入れかた	走行方向表示
両面を続けて録音するとき	録音を始めたい面がふた側になるようにカセットを入れる。	FWD
片面だけに録音したいとき	録音したい面が本体側になるようにカセットを入れる。	REV

カセットふたを開けると、テープの走行方向は自動的にFWDに設定されます。片面だけに録音するとき、表示がFWDからREVになるまで■ボタンを押したままにします。

2

録音時間を選ぶ



- ① MENUボタンを繰り返し押し、カーソルをREC/PBに合わせる
- ② SETボタンを押して表示を切り換える

標準（表示なし）： 通常の録音をするとき。

（4.8cm/s） 「2倍モード」のときより良い音で録音できません。

2x（2倍モード）： テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。

会議、口述、メモ録音などに適しています。
音楽の録音にはおすすりできません。

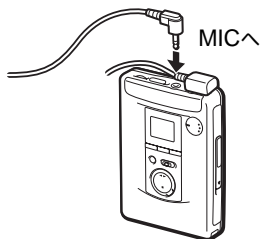
（60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます。）

（次ページへつづく）

録音する(つづき)

3 音源を選ぶ

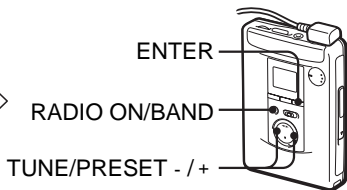
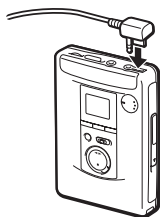
マイク録音の場合
マイクをつなぐ



ラジオ録音の場合

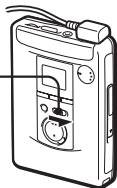
①リモコンつきヘッドホンの
コードがFMのアンテナに
なっています。

②受信する(「ラジオを聞く」
(16ページ)参照)



4 録音を始める

RECスイッチを
ずらす



表示窓に「**REC**」が表示されます。

(リモコンでは、ラジオ録音時は「REC」と周波数が交互に表示
されます。)

録音を止めるには

■ボタンまたはリモコンの◀▶●■ボタンを押します。

AMを録音中に「ピー」という雑音聞こえたら

本体側面のISSスイッチを、雑音が消える位置(1、2または3)に切り換えます。

テープが終わりまでくると

ふた側(FWD側)から録音を始めたときは、自動的に本体側(REV側)に切り換わり、REV側の面の終わりまで録音して自動的に止まります(両面録音)。また、REV側から録音を始めたときはその面の終わりまで自動的に止まります(片面のみ録音)。

録音レベルについて

録音レベルは一定です。録音される音は、VOLつまみや音質(RV/MB/GRV)、AVLS*の設定に影響されません。*「その他の機能を使う」(34ページ)参照。

録音中の音を聞くときは

- 録音中の音はヘッドホンで聞く(モニターする)ことができます。モニター音はVOLつまみで調節できます。
- 録音中の音を聞くときは、録音を始める前に音質の設定を通常の音質(表示なし)にしておくことをおすすめします。「RV」、「MB」または「GRV」になるとモニター音に雑音が入ることがありますが、録音される音には影響ありません。

録音についてのご注意

- 停止状態またはラジオ受信状態でないと、録音は始まりません。
- 録音中は録音面を切り換えることはできません。
- RECスイッチは録音開始の2秒くらい前に操作してください。直前に操作すると最初の部分が録音されません。
- 電池が消耗すると、録音に雑音が入ったり、性能を十分に発揮できないことがあります。このような場合、なるべく早めに乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換し、充電式電池は充電して録音を開始してください。
- 録音するテープにはTYPE I(ノーマル)テープをお使いください。ハイポジションテープやメタルテープを使うと、再生する音がひずんだり、前の録音が消えずに残ったりすることがあります。(次ページへつづく)

録音する(つづき)

- ラジオから録音するときは、録音中にヘッドホンの抜き差しをしないでください。
- 両面録音時は、FWD側からREV側に切り換わる際の10秒程度は、録音がとぎれます。
- 録音中は、停止とカウンターリセット(25ページ)以外の操作はできません。

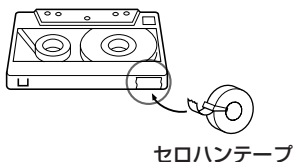
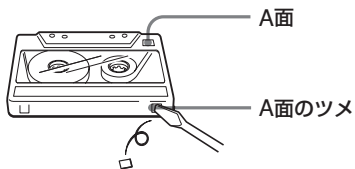
マイク録音について

- ヘッドホンで録音モニター中に音量を上げると、その音をマイクが拾い、ピーッという音(ハウリング)が生じることがあります。この場合には、音量を下げてください。
- 付属のマイクは、本機につなぐと電源が本機から供給されるプラグインパワー方式です。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズを拾うことがあります。
- マイクのプラグはときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。プラグが汚れていると雑音の原因になることがあります。

大切な録音を守るには

ツメを折って取り除きます。

再び録音するには、穴をふさぎます。



ツメを折った面には、録音することができません。

付属のマイクを使うには

クリップはマイクを付ける場所に合わせて方向が変えられます。

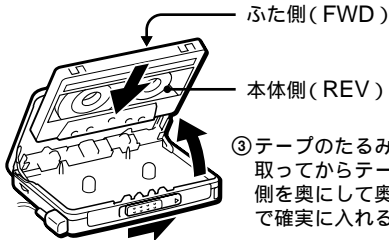
テープを聞く

TYPE I(ノーマル)、TYPE II(ハイポジション)、TYPE IV(メタル)のテープを自動的に判別し、再生します(オートテープセレクト機能)。

1 カセットを入れる

- ① OPENつまみを矢印の方向にずらす

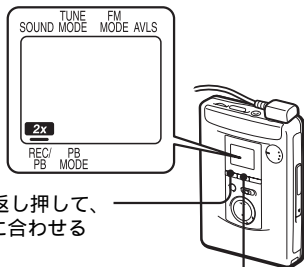
- ② ふたが少し開いたら、手でふたを開ける



- ③ テープのたるみを取ってからテープ側を奥にして奥まで確実に入れる

2 再生時間を選ぶ

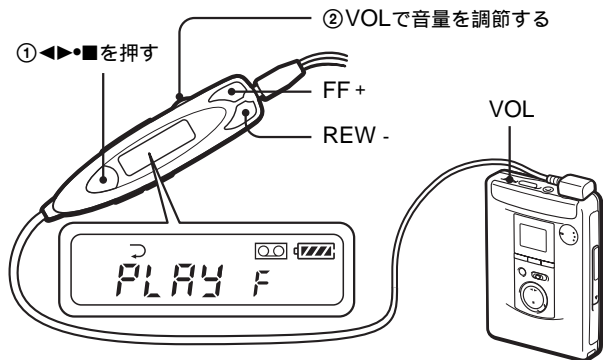
REC/PB(録音/再生時間2x(2倍))表示を、録音した時と同じ位置に合わせます。市販の録音済みテープを再生するときは標準(表示なし)を選んでください。(「録音する」(9ページ)参照)



- ① MENUボタンを繰り返し押し、カーソルをREC/PBに合わせる
- ② SETボタンを押して表示を切り換える

(次ページへつづく)

3 再生する(リモコンで操作する)



リモコンで音量調節するときは、本体のVOLつまみを6程度にします。
本体で音量調節するときは、リモコンのVOLつまみを最大にします。

ヘッドホンが耳にぴったり合わないとき
や、音のバランスが不自然なときは、お
さまりのいい位置に調節してください。




「L」を左、
「R」を右の耳に

その他のテープ操作

操作	押すボタン	動作の確認音(リモコン表示)
再生面の切り換え	再生中に◀▶●■を2秒以上	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ピピ
停止	再生中に◀▶●■を1回	ピ
早送り/巻き戻し (停止中)*	停止中にFF+または REW-を1回	ピ(「FF」または「REW」が 点灯)
音を聞きながら 早送り/巻き戻し (キュー/レビュー)	再生中にFF+または REW-を押し続ける 押し続けている間だけ早 送り/巻き戻しします。	早送り時: ピ ピ ピ、... (「FF」が点滅) 巻き戻し時: ピ ピピ ピピ、...(「REW」が点滅)
早送りして反対面を再 生(スキップリバース)	停止中にFF+を2秒以上	ピ ピ ピ、ピ、... (「FF」が点滅)
巻き戻して最初から再 生(オートプレイ)	停止中にREW-を2秒以 上	ピ ピ ピピ、ピピ、... (「REW」が点滅)

* 早送り、巻き戻し中に◀▶●■ボタンを押すと再生状態になります。

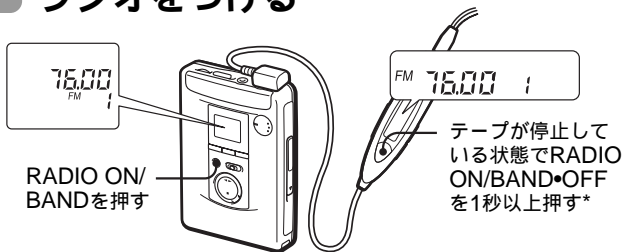
上記以外のテープ操作は、「テープを聞く - 応用」(19ページ)をご覧ください。

 カセットぶたを開けるときは、テープが停止していることを確認してください。動作中にカセットぶたを開けるとテープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。

ラジオを聞く

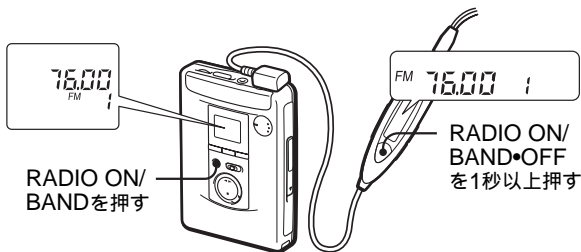
ご使用になる前に、ご使用になる国・地域に合わせて、エリアを設定してください。詳しくは、33ページ「海外でラジオを聞く」を参照してください。以下の説明は、日本でお使いになる場合を例としています。

1 ラジオをつける



* テープ再生中の場合は、◀▶●■を1度押してテープを止めてから、1秒以上押してラジオをつけてください。

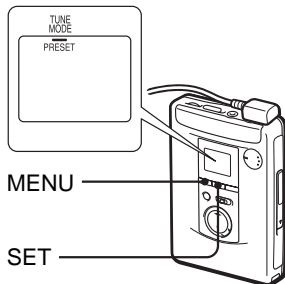
2 AMまたはFMを選ぶ



3

マニュアル選局*モードにする、またはプリセット選局*モードにする

- ① MENUボタンを繰り返し押し
してカーソルをTUNE
MODEに合わせる
- ② マニュアル選局モード：SET
を押して「MANUAL」を
表示させる
プリセット選局モード：SET
を押して「PRESET」を
表示させる



* マニュアル選局/プリセット選局について詳しくは「ラジオを聞く - 応用」(26~32ページ)をご覧ください。

4

放送局を選ぶ



マニュアル選局モード：表示窓を見ながら、TUNE/ PRESET +
または - を繰り返し押しして周波数を合わせる
プリセット選局モード：TUNE/ PRESET + または - を押す

(次ページへつづく)

ラジオを聞く(つづき)

ラジオを消すには

本体のRADIO OFFボタンまたはリモコンのRADIO ON/BAND・OFFボタンを押します。

受信状態をよくするには

AM放送

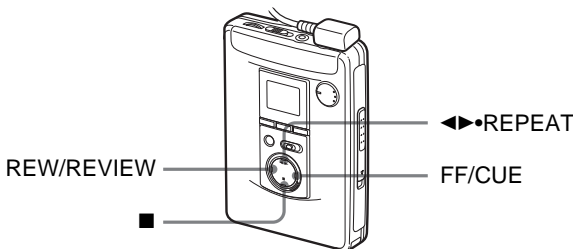
アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、聞きやすいように調節します。

FM放送

リモコンつきヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

▶テープを聞く - 応用

本体で操作する

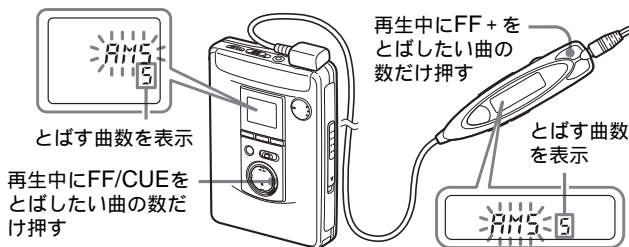


操作	押すボタン	動作の確認音
再生	◀▶•REPEAT	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ビビ
再生面の切り換え	再生中に◀▶•REPEAT	FWD(ふた側)面スタート ピ REV(本体側)面スタート ビビ
停止	■(停止)	ビ
早送り/巻き戻し(停止中)*	停止中にFF/CUEまたはREW/REVIEWを1回	ビ
音を聞きながら早送り/巻き戻し(キュー/レビュー)	再生中にFF/CUEまたはREW/REVIEWを押し続ける 押し続けている間だけ早送り/巻き戻しします。	早送り時: ビ ビ ビ、... 巻き戻し時: ビ ビビ ビビ、...
早送りして反対面を再生(スキップリバース)	停止中にFF/CUEを2秒以上	ビ ビ ビ、ビ、...
巻き戻して最初から再生(オートプレイ)	停止中にREW/REVIEWを2秒以上	ビ ビ ビビ、ビビ、...

* 早送り、巻き戻し中にリモコンの◀▶•■ボタンを押すと再生状態になります。

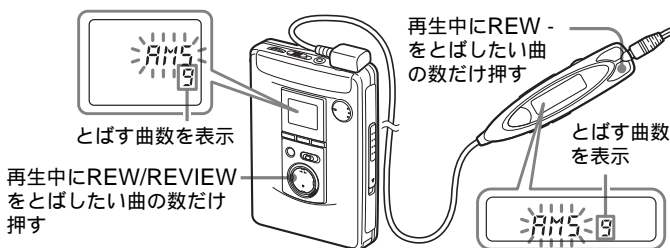
好きな曲を頭出しする (AMS - オートミュージックセンサー)

早送りして何曲か先の曲を再生するには



確認音: ピ あと1曲になるとピッピー、ピッピー、・・・

巻き戻して何曲か前の曲を再生するには



確認音: ピ あと1曲になるとピッピー、ピッピー、・・・

最大9曲までとばすことができます。

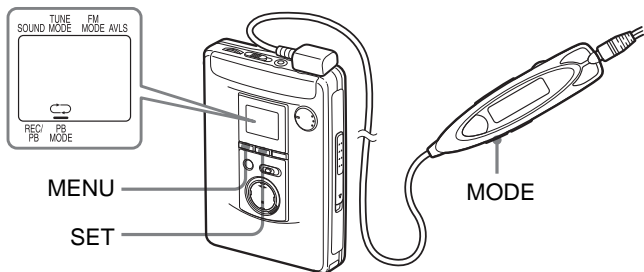
AMSが正しく動作しないことがあります

- AMSでは曲間の4秒以上のあき(無音部分)を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後に操作したときは、頭出しができないことがあります。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。
- AMSの途中で停止することがありますが、故障ではありません。詳しくは「故障かな?」(44ページ)をご覧ください。

テープ走行のしかたを選ぶ

プレイバックモード

(PB MODE)



テープを聞く
応用

テープ走行のしかたを選べます。

リモコン表示	本体表示 (PB MODE)	モード
↔	↔	両面を繰り返し再生
→	→	両面を1回再生*

* REV面から始めたときはREV面のみを再生して止まります。

リモコンで操作するには

MODEボタンを繰り返し押して、表示を切り換えます。

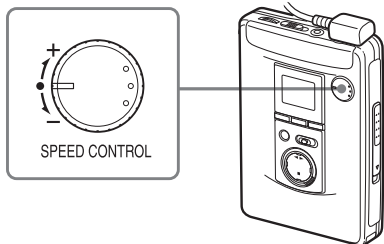
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、PB MODEの位置に合わせます。SETボタンを押して、表示を切り換えます。

ご注意

- 設定は、電池を交換しても消えません。

テープの再生スピードを調節する (スピードコントロール)



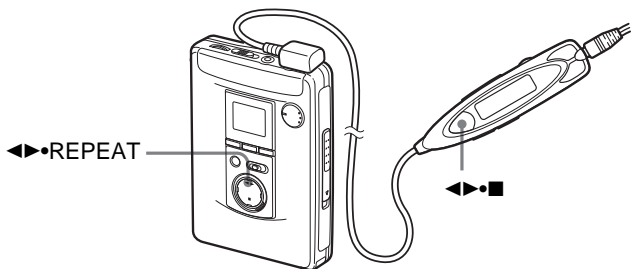
スピードコントロールつまみで、再生スピードを調節します。

再生速度	つまみの位置
ゆっくり再生する	- 方向にまわす。
通常の方法で再生する	中央
速く再生する	+ 方向にまわす。

ご注意

- 録音中はスピードコントロール機能は使えません。
- 電池が消耗しているときに、スピードコントロールつまみを急に動かすと停止することがあります。ゆっくり動かすか、電池を交換してください。

指定した区間を繰り返し聞く (A-B区間リピート)



指定した区間を繰り返し聞くことができます。

テープ再生中、繰り返し聞きたい区間の最初(A点)と最後(B点)を指定します。

リモコンで操作する

- 1 テープ再生中に◀▶■をすばやく2回押して、A点を指定する
- 2 そのあとで◀▶■をもう一度押して、B点を指定する
指定した区間が繰り返し再生されます。

本体で操作する

- 1 テープ再生中に◀▶•REPEATを2秒以上押して、A点を指定する
本体の表示窓に「A-」が点滅します。
- 2 そのあとで◀▶•REPEATをもう一度押して、B点を指定する
本体の表示窓に「A-B」が点滅したあと「REP」が表示され、指定した区間が繰り返し再生されます。

(次ページへつづく)

A-B区間リピートを止めるには

リモコンの◀▶●■または本体の◀▶●REPEATボタンを押します。
テープは通常の再生に戻ります。

ご注意

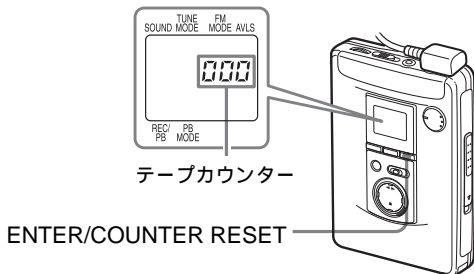
- テープのFWD(REV)面からREV(FWD)面にまたがるA-B区間リピートはできません。
- 2秒以下のリピート区間を設定することはできません。
- テープのたるみやテープ操作の繰り返しによって、リピート区間に多少のズレが生じることがあります。
- A-B区間リピートは、50回繰り返すと、通常の再生に戻ります。
- A-B区間リピート中に停止することがありますが、故障ではありません。
詳しくは「故障かな?」(44ページ)をご覧ください。
- 90分を超えるテープでは、A-B区間リピートはしないでください。テープを傷めるおそれがあります。

テープカウンターを使う

テープ再生中、録音中、早送り、巻き戻し中、キュー、レビュー中、停止中(ラジオ受信時を除く)に表示されます。

FWD面録音/再生中は数字が増え、REV面録音/再生中は数字が減ります。

テープカウンターを「000」に戻すには、ENTER/COUNTER RESETボタンを押します。

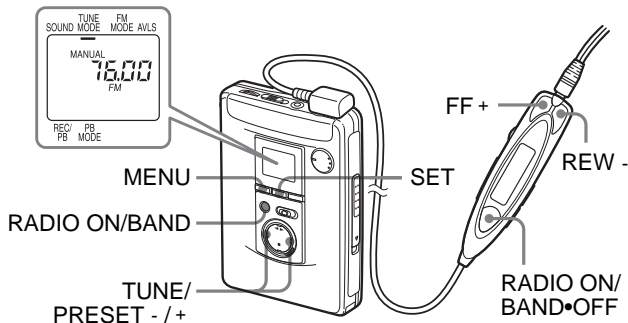


ご注意

- テープカウンター表示は少しずれることがあります。
- カセットテープが入っていないときは、テープカウンターは表示されません。

▶ラジオを聞く - 応用

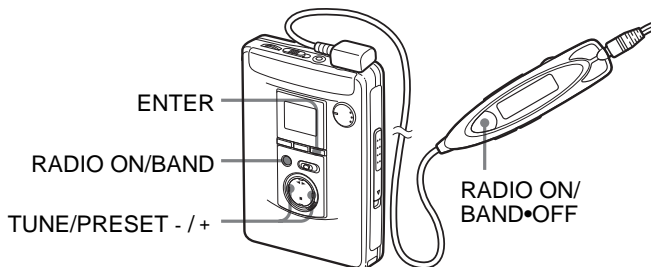
自分で周波数を合わせて聞く(マニュアル選局)



- 1 RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す)
- 2 RADIO ON/BANDボタンを繰り返し押して、AMまたはFMを選ぶ
(リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す)
- 3 本体のMENUボタンを繰り返し押して、カーソルをTUNE MODEの位置に合わせる
- 4 SETボタンを押して「MANUAL」を表示させる
- 5 TUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押して表示窓を見ながら周波数を合わせる
(リモコンでは、FF + またはREW - ボタンを繰り返し押す)
TUNE/PRESET + または - ボタンを長めに押して離すと、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります(オートスキャン)。電波が弱くて止まらないときは、TUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押して周波数を合わせてください。

いつも聞く放送局を記憶させてから聞く (プリセット)

いつも聞く放送局をAM、FM各8局、合計16局(海外ではFM20局、AM10局、合計30局)まで記憶させることができます。聞くときは、記憶させた番号(プリセット番号)で聞く局を選びます。



□ 放送局を自動で受信して記憶させる

受信状態のよい場所で操作してください。

- 1 RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す)
- 2 RADIO ON/BANDボタンを繰り返し押して、AMまたはFMを選ぶ
(リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す)
- 3 ENTERボタンを3秒以上押したままにする
プリセット番号「1」が点滅し、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局を自動的に探し始めます(スキャン)。受信できる放送局では約5秒間止まります。

(次ページへつづく)

- 4 記憶させたい放送局で、ENTERボタンを押す
その放送局がプリセット番号「1」に記憶され、次のプリセット番号の点滅に変わります。そして同時にスキャンが再開されます。
- 5 記憶させたい放送局が受信されるごとに、手順4を繰り返す
周波数の高い局までスキャンが一巡すると、「ピー」と鳴って終了します。

スキャンを止めるには

本体のRADIO OFFボタンまたはリモコンのRADIO ON/BAND・OFFボタンを押します。その場合、ラジオも止まります。

記憶させた放送局を受信するには

30ページをご覧ください。

ご注意

- 電波が弱いときは記憶できる放送局が少なくなる場合があります。
- 同じプリセット番号に、新たに別の放送局を記憶させると、すでに記憶されていた放送局は消去されます。

電波が弱く聞きたい放送局でスキャンが止まらなかったときや、特定のプリセット番号に記憶させたいときは

- 1 RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND・OFFボタンを1秒以上押す)
- 2 RADIO ON/BANDボタンを繰り返し押して、AMまたはFMを選ぶ
(リモコンでは、RADIO ON/BAND・OFFボタンを1秒以上押す)
- 3 ENTERボタンを押す
周波数表示が点滅します。

- 4 周波数の点滅中*にTUNE/PRESET+または-ボタンを繰り返し押し記憶させたい周波数を表示させ、ENTERボタンを押す
プリセット番号が点滅します。
- 5 プリセット番号の点滅中*にTUNE/PRESET+または-ボタンを繰り返し押し記憶させたいプリセット番号を点滅させる
- 6 プリセット番号の点滅中にENTERボタンを押す
これで、選んだ放送局が、選んだプリセット番号に記憶されました。

* 表示の点滅が止まった場合は、手順3から操作し直してください。

記憶させた放送局を受信するには
30ページをご覧ください。

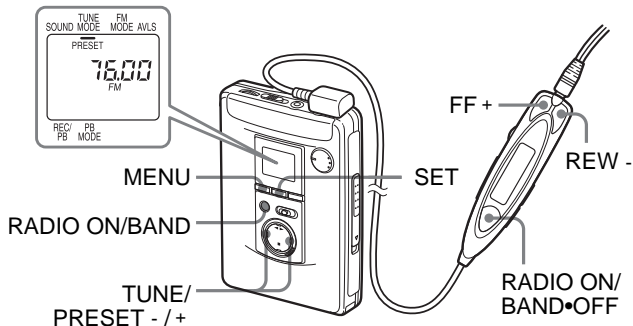
ご注意

- 同じプリセット番号に、新たに別の放送局を記憶させると、すでに記憶されていた放送局は消去されます。

特定のプリセット番号の記憶を消すには

- 1 30ページの「記憶させた放送局を聞く」の手順1から5を行い、消したい周波数とプリセット番号を表示させる
- 2 ENTERボタンを押して周波数表示を点滅させる
- 3 表示の点滅中にTUNE/PRESET+または-ボタンを繰り返し押し「 - - - - 」* を表示させる
*「 - - - - 」は最大周波数あるいは最小周波数の次に表示されます。
- 4 「 - - - - 」の点滅中にENTERボタンを押す
プリセット番号表示が点滅します。
- 5 プリセット番号表示の点滅中にENTERボタンを押す

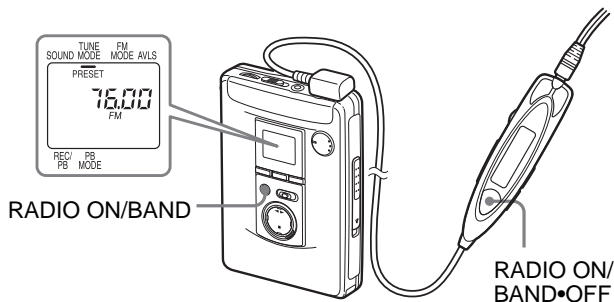
記憶させた放送局を聞く(プリセット選局)



- 1 RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける
(リモコンでは、テープが停止している状態でRADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す)
- 2 RADIO ON/BANDボタンを繰り返し押し、AMまたはFMを選ぶ
(リモコンでは、RADIO ON/BAND•OFFボタンを1秒以上押す)
- 3 本体のMENUボタンを繰り返し押し、カーソルをTUNE MODEの位置に合わせる
- 4 SETボタンを押して「PRESET」を表示させる
- 5 TUNE/PRESET + または - ボタンを繰り返し押し、プリセット番号を選ぶ
(リモコンでは、FF + またはREW - ボタンを繰り返し押す)

□ プリセット選局の便利な聞きかた

記憶させた放送局を、プリセット番号1から順に約5秒間ずつ自動受信します。そのときの放送内容をひとつお聞きながら選べるので、聞きたい放送局が決まっていないときなどに便利です。



- 1 30ページの「記憶させた放送局を聞く」の手順1から4にしたがってラジオをつける
- 2 RADIO ON/BANDボタンを2秒以上押したままにする
表示窓の表示が点滅し、記憶された局がプリセット番号1から順に約5秒間ずつ放送されます。
- 3 聞きたい放送局が放送されている間にRADIO ON/BANDボタンを押す
これで、選んだ放送局を受信できます。

ご注意

- 放送局が1局も記憶されていない場合は、この機能は動きません。
- TUNE MODEを「PRESET」に設定していない場合は、この機能は動きません。
- 手順3で聞きたい放送局を選択しないと、手順2のままで、記憶させた局を約5秒間ずつ放送し続けます。

ラジオを聞くときのご注意

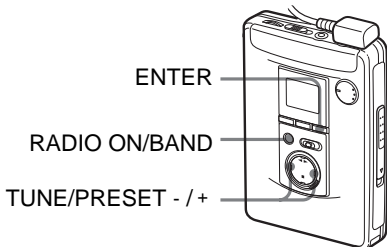
受信するとき

- 本体やリモコンを他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部が金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなる場合があります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

ステレオ放送を聞くとき

FMのステレオ放送を聞くときは本体のMENUボタンを繰り返し押し、表示窓のカーソルをFM MODEの位置に合わせ、SETボタンを押して表示なし(ステレオ)にします。電波が強すぎてはずんで聞こえる場合は「LOCAL」を表示させます。雑音が多いときは「MONO」(モノラル)にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。なお、AMはステレオにはなりません。

海外でラジオを聞く



- 1 RADIO ON/BANDボタンを押してラジオをつける
- 2 ENTERボタンを押して、周波数表示を点滅させる
- 3 エリア表示(「JPn」、「USA」または「Eur」)が点滅するまでRADIO ON/BANDボタンを押したままにする
- 4 表示の点滅中*にRADIO ON/BANDボタンを繰り返し押し続けてエリアを選ぶ

* 表示の点滅が止まった場合は手順2から操作し直してください。

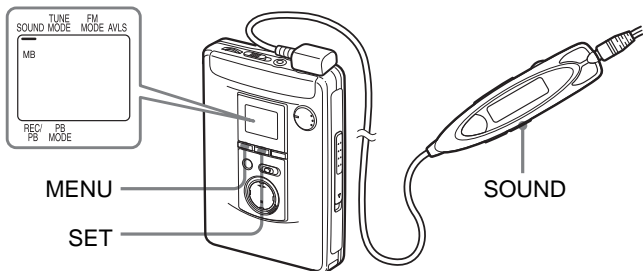
受信範囲は下記のようになります。

使う地域	選ぶエリア	受信周波数
日本	JPn	FM: 76.0 - 90.0 MHz AM: 531 - 1 710kHz
アメリカ合衆国、カナダ 中南米諸国	USA	FM: 87.5 - 108MHz AM: 530 - 1 710kHz
ヨーロッパ、その他	Eur	FM: 87.5 - 108MHz AM: 531 - 1 602kHz

- 5 ENTERボタンを押す
- 6 「自分で周波数を合わせて聞く」(26ページ)または「いつも聞く放送局を記憶させてから聞く」(27ページ)にしたがって受信する

▶その他の機能を使う

高音または低音を強調する (SOUND)



リモコンまたは本体で、好みの音質を選べます。

リモコン表示 音質

リバイブ

RV 高音を強調(古いテープなど、高音にメリハリがないテープを再生するとき)

メガベース

MB 低音を強調

グループ

GRV 低音をより強調

表示なし 通常の音質

リモコンで操作するには

SOUNDボタンを繰り返し押して、音質を選びます。

通常の音質を選ぶ場合は、表示なしにしてください。

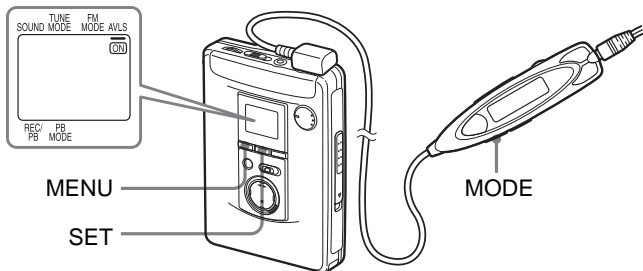
本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、SOUNDの位置に合わせます。SETボタンを押して、音質を選びます。通常の音質を選ぶ場合は、表示なしにしてください。

ご注意

- GRVにしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、他の音質を選ぶか、または本体の音量を下げてお聞きください。
- 設定は、電池を交換しても消えません。
- 音質の設定は、録音される音には影響しません。

音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS - 快適音量)



リモコン表示	本体表示 (AVLS)	モード
AVLS	ON	AVLS入
表示なし	表示なし	AVLS切

リモコンで操作するには

表示窓に「AVLS」が表示されるまでMODEボタンを押します。(約10秒)

AVLSを解除するには

「AVLS」の表示が消えるまでMODEボタンを押したままにします。(約3秒)

本体で操作するには

MENUボタンを繰り返し押して、表示窓のカーソルを、AVLSの位置に合わせます。SETボタンを押して、「ON」を表示させます。

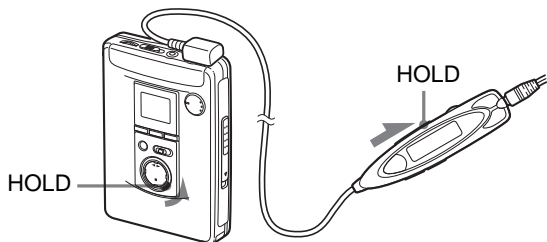
AVLSを解除するには

SETボタンを押して、「ON」の表示を消します。

ご注意

- AVLSの設定は、電池を交換すると解除されます。
- AVLSの設定は、録音される音には影響しません。

誤操作を防ぐ(ホールド機能)



HOLDスイッチを矢印の方向にずらして、誤操作を防ぎます。

ご注意

- SPEED CONTROLつまみにはホールド機能は働きません。

乾電池・充電式電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、電池交換お知らせ表示が点滅します。テープ走行が不安定になったり雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電し直してください。

乾電池は、別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

電池の残量がなくなってくると、表示でお知らせします

リモコン表示



本体表示



意味

残量は充分です。 残量が少なく 電池が消耗しています。

なってきました。 しばらくすると、本体の

動作が止まります。

ご注意

- 100%充電されていない充電式電池を入れても残量表示がすべて点灯することがありますが、充電量(充電時間)に応じて、持続時間は短くなります。
- 早送りや巻き戻し中、または極端に温度が低い場所で使用しているときは、残量が少なく表示されることがあります。

(次ページへつづく)

電池の持続時間*

使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時	マイク録音時	ラジオ録音時
ソニーアルカリ 乾電池LR6(SG)**	約44時間	約56時間	約15時間	約12時間
充電式ニッケル水素 電池NH-14WM(A) (100%充電にて)	約26時間	約34時間	約9時間	約7時間
充電式ニッケル水素 電池とソニーアルカ リ乾電池の併用	約70時間	約90時間	約24時間	約19時間

* 電子情報技術産業協会(JEITA)の測定方法に基づいています。(ソニーHFシリーズカセットテープ使用)

**日本製ソニースタミナルカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

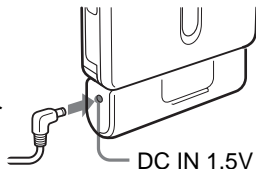
ご注意

- 電池持続時間は、周囲の温度や使用状態、電池の種類により短くなる場合があります。
- マンガン乾電池でご使用になると、A-B区間リピートやAMS中などに停止してしまう場合があります。

コンセントにつないで使う

コンセントにつないで使うときは、別売りのACパワーアダプター
AC-E15L(国内用) またはAC-E15HG(海外用)をご用意ください。

- 1 乾電池ケースを本体に取りつける
本体に充電式電池が入っていたら取り出してください。
- 2 別売りのACパワーアダプターを、
乾電池ケース側面のDC IN 1.5V
ジャックにつなぐ
- 3 ACパワーアダプターをコンセント
につなぐ



ご注意

- AC-E15HGは、地域により異なる仕様になっています。使用する地域の電源電圧やプラグの形状をお確かめのうえ、お買い求めください。

▶その他

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、市販の綿棒とクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングカセットは指定のものをお使いください

他のクリーニングカセットを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れについて

常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。汚れていると、雑音の原因になることがあります。

端子のお手入れについて

定期的に図のように各端子を綿棒や柔らかい布などで、きれいにしてください。



使用上のご注意

充電について

- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは指定の電池以外は充電しないでください。
- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 充電が終わったら、早めに本体を充電スタンドからはずし、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- 充電中は充電スタンドや充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。

日本国内での充電式電池の廃棄について



ニッケル水素電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会のホームページ<http://www.baj.or.jp/>を参照してください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

ACパワーアダプターについて

- この製品には、付属または指定のACパワーアダプター（極性統一形プラグ:JEITA規格）をご使用ください。それ以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。



極性統一形プラグ

その他

（次ページへつづく）

- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
 - 本機を棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
 - 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など、水の入ったものを置かないでください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っばらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ(40 以上)や低いところ(0 以下)では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりがたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- 長い間本機を使わなかったときは、1度本機を数分間再生状態にしてからお使い始めください。
- 動作中はカセットぶたを開けないでください。テープがたるみ、テープを傷めるおそれがあります。テープがたるんでしまったときは、必ずたるみを取ってから使用してください。
- 長時間テープについて
90分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音ののびが悪くなる場合があります。
- ヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターにご相談ください。

ヘッドホンについて

- 交通安全のために
自転車やバイク、自動車などの運転中は、ヘッドホンは絶対に使わないでください。
歩行中でも音量を上げすぎるとまわりの音が聞こえなくなり危険です。とくに、踏切や横断歩道では充分にご注意ください。
- 耳を守るために
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- まわりの人のことを考えて
ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。

雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
A-B区間リピート、AMSや早送り・巻き戻しをするとテープが止まる	消耗した充電式電池または乾電池を使っている。マンガン乾電池を使っている。(A-B区間リピートやAMSなどは再生と比べて電流を多く消費するためです。)	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
「ピピピピ」とエラー音が鳴り、操作できない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
操作できない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
	本体またはリモコンのホールド機能が働いている。	ホールドを解除する。「誤操作を防ぐ」(36ページ)参照
「ピピピピピピピ」と鳴り、テープ操作ができない	カセットが入っていない。	カセットを入れる。
雑音が入ることがある	近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。	携帯電話などから離して使用する。
	ACパワーアダプターの近くで使用している。	ACパワーアダプターから離して使用する。
音が途切れる 雑音がする	ヘッドホンのプラグが汚れている。	ヘッドホンのステレオミニプラグおよびリモコンのプラグをきれいにクリーニングする。
	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
A-B区間リピートができない	A-B区間を2秒以内で設定しようとした。	A-B区間を2秒以上に設定する。

症状	原因	処置
RECスイッチをずらすと警告音が鳴り、録音が始まらない	テープの誤消去防止用のツメが折れている。	穴をセロハンテープなどでふさぐ。「大切な録音を守るには」(12ページ)参照
音量が大きくなり、音量が小さい	AVLSが働いている。	AVLSを解除する。「音もれを抑え耳にやさしい音にする」(35ページ)参照
低音が強すぎたり、ひずんだように聞こえる	音質がRV、MBまたはGRVになっている。	音質を通常の設定にする。「高音または低音を強調する」(34ページ)参照
再生速度が速すぎる/遅すぎる 再生音がおかしい	録音 / 再生時間 2×(2倍)モードの設定が、録音時と異なる。	録音した時と同じ設定にする。「再生時間を選ぶ」(13ページ参照)
	スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。	スピードコントロールつまみを中央(通常のスปีド)の位置にする。「テープの再生スピードを調節する」(22ページ参照)
動作や表示がおかしい	——	いったん電源・電池(乾電池、充電式電池)をはずして、15秒以上たってから入れ直す。
表示窓の表示が一瞬消えることがある ラジオを聞いたりテープの再生はできるが、録音ができない	電池が消耗している。	充電式電池を充電する。 乾電池は新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
充電スタンドのCHGランプが点灯しない	充電式電池が入っていない。 本体または充電スタンドの端子が汚れている。	充電式電池を本体に入れる。 端子をきれいにクリーニングする。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではカセットプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外での保証とアフターサービスについて

- 保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- 海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

主な仕様

カセットコーダー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲*	再生時：40～15 000 Hz 録音・再生時：100～8 000Hz
入力端子	マイク(ステレオミニ)ジャック1個 最小入力レベル 0.4 mV
出力端子	ヘッドホンジャック(専用リモコンジャック)1個 負荷インピーダンス 8～300
実用最大出力(DC時)*	3 mW + 3 mW (16)
電源	DC 1.5 V 充電式電池(付属：NH-14WM (A)、1.2 V、1 350 mAh (min)、Ni-MH)、単3形乾電池1個
電池持続時間*	乾電池、充電式電池の持続時間については「電池の持続時間」(44ページ)をご覧ください。
本体寸法	約77.1 × 108.0 × 22.5 mm(幅/高さ/奥行き、突起部含まず)
最大外形寸法	約77.7 × 108.7 × 24.0 mm(幅/高さ/奥行き)*
質量	約152 g(本体のみ) 約179 g(充電式電池含む)*

ラジオ部

受信周波数	FM(ステレオ)：76.0～90.0MHz AM(モノラル)：531～1 710kHz
-------	--

別売りアクセサリ

ACパワーアダプターAC-E15L(日本国内用)、ACパワーアダプターAC-E15HG(海外用)、充電式ニッケル水素電池 NH-14WM、ステレオイヤレシーパー(ヘッドホン)** MDR-ED238SP/MDR-ED31SP(GROOVE対応)、MDR-Q55SL、MDR-848SP、MDR-E931SP、MDR-EX71SL、エレクトレットコンデンサーマイクロホンECM-719、ECM-D570P

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

国によって扱っているアクセサリが違います。詳しくはお買い上げ店、ソニーサービス窓口、海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

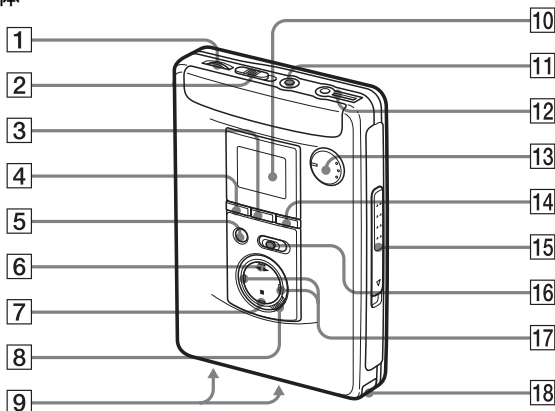
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* 電子情報技術産業協会(JEITA)規格による測定値です。

** ヘッドホンは、本体の○ジャックに直接つなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものをお求めください。

各部のなまえ

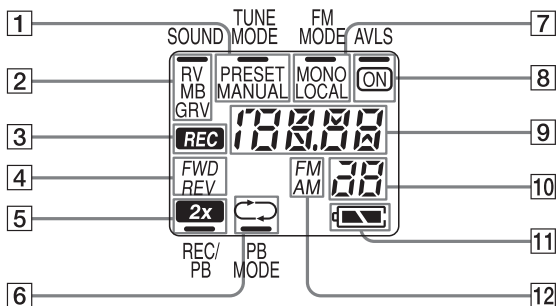
本体



ボリューム

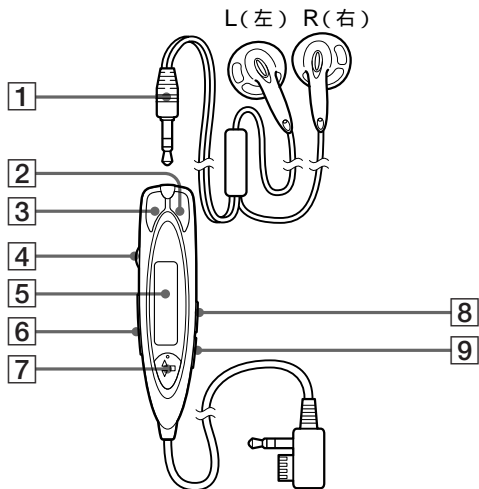
- | | |
|-----------------------------------|---|
| ① VOL(音量調節)つまみ | ⑫ Ω(ヘッドホン、リモコン)ジャック
スピード コントロール |
| ② ISS(AM放送録音妨害除去)スイッチ | ⑬ SPEED CONTROLつまみ |
| ③ SET(機能設定)ボタン
メニュー | ⑭ テープ時:
カウンター リセット
COUNTER RESETボタン |
| ④ MENU(機能選択)ボタン
ラジオ オン | ラジオ時:
エンター
ENTER(入力)ボタン |
| ⑤ RADIO ON(ラジオ電源入)ボタン
バンド | ⑮ OPEN(カセットぶた開け)つまみ
レコーディング |
| BAND(AM、FM選択)ボタン
リピート | ⑯ REC(録音)スイッチ |
| ⑥ ◀▶(再生)REPEATボタン | ⑰ テープ時:FF(早送り)CUE・
AMS/REW(巻き戻し)・
レビュー・AMSボタン
チューニング |
| ⑦ テープ時:■(停止)ボタン
ラジオ オフ | ラジオ時:TUNE(選局)
プリセット |
| ラジオ時:RADIO OFF(ラジオ電源切)ボタン
ホールド | PRESET+、-(放送局番号選択)ボタン |
| ⑧ HOLD(誤操作防止)スイッチ | ⑱ 充電式電池入れ |
| ⑨ 乾電池ケース用接点 | |
| ⑩ 液晶表示窓 | |
| ⑪ MICジャック | |

本体表示窓



- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1 選局方法表示
プリセット マニュアル
(PRESET/MANUAL) | 7 FM受信方法表示
モノ ローカル
(MONO/LOCAL) |
| 2 音質表示(RV/MB/GRV)
レコーディング | 8 AVLS表示 |
| 3 REC(録音)表示 | 9 動作状態/エリア表示 |
| 4 テープ走行面表示(FWD/REV) | 10 プリセット番号表示 |
| 5 録音/再生時間表示 | 11 電池交換お知らせ表示 |
| 6 テープ走行方法表示
( / ) | 12 バンド表示(FM/AM) |

リモコンつきヘッドホン

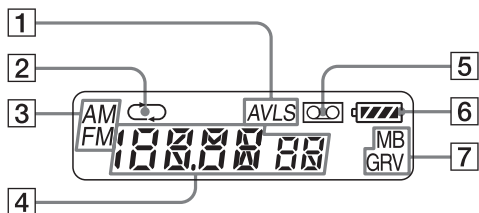


- ① ステレオミニプラグ
- ② REW -(巻き戻し・REVIEW・AMS)ボタン
- ③ FF +(早送り・CUE・AMS)
ボタン
ボリューム
- ④ VOL(音量調節)つまみ
- ⑤ 液晶表示窓*
ホールド
- ⑥ HOLD(誤操作防止)スイッチ

- ⑦ テープ時:
◀▶(再生)▶■(停止)ボタン
ラジオ時:
ラジオ オン
RADIO ON(ラジオ電源入)
バンド
BAND(AM、FM選択)▶
オフ
OFF(ラジオ電源切)ボタン
サウンド
- ⑧ SOUNDボタン
モード
- ⑨ MODEボタン

* 液晶バックライトについて
リモコン操作時、本体操作時、電池残量表示が変化したときなどに、自動的に約5秒間点灯します。

リモコン表示窓



- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| ① AVLS表示 | ⑤ カセット有 / 無表示 |
| ② テープ走行方法表示(← / →) | ⑥ 電池交換お知らせ表示 |
| ③ バンド表示(FM/AM) | ⑦ 音質表示(RV/MB/GRV) |
| ④ テープ操作時: テープ動作状態表示
ラジオ操作時: 周波数表示 | |

Note

Tapes recorded with setting to “2x” cannot be played properly on a cassette player/ tape recorder without this function.

- To prevent fire, do not cover the ventilation of the apparatus with newspapers, table-cloths, curtains, etc. And don't place lighted candles on the apparatus.
- To prevent fire or shock hazard, do not place objects filled with liquids, such as vases, on the apparatus.
- Certain countries may regulate disposal of the battery used to power this product. Please consult with your local authority.

Preparations

Prepare a dry battery (not supplied) or the rechargeable battery (supplied).

Dry Battery

Attach the supplied battery case, and then insert one R6 (size AA) battery with correct polarity.

Note

For maximum performance we recommend that you use a Sony alkaline battery.

Rechargeable Battery

Charge the rechargeable battery before using it for the first time.

- 1 Insert the supplied rechargeable battery NH-14WM (A) into the rechargeable battery compartment with correct polarity.
- 2 Connect the supplied AC power adaptor to the charging stand, plug in the AC power adaptor to the house current (mains). If the plug does not fit to your mains, attach the supplied AC plug adaptor.
- 3 Place the main unit on the charging stand.
The CHG lamp will light up. Full charging takes about 6 hours.
The CHG lamp will go off when the battery is fully charged.

Note

Do not use the unit while charging. Remove the unit from the charging stand when using it.

- If you operate the unit while charging, the battery will not be charged.
- If you operate the unit while charging, it may cause malfunction.

- Do not place the unit on the charging stand without the rechargeable battery. Otherwise, it may cause malfunction.

When to replace/charge the battery

Replace or charge the battery when "□" flashes in the display.

Battery life* (Approx. hours)

Sony alkaline LR6 (SG)**

Tape playback	44
Radio reception	56
MIC recording	15
Radio recording	12

Rechargeable battery NH-14WM (A)

Tape playback	26
Radio reception	34
MIC recording	9
Radio recording	7

Sony alkaline LR6 (SG)** and Rechargeable NH-14WM (A)

Tape playback	70
Radio reception	90
MIC recording	24
Radio recording	19

* Measured value by the standard of JEITA (Japan Electronics and Information Technology Industries Association). (Using a Sony HF series cassette tape)

**When using a Sony LR6 (SG) "STAMINA" alkaline dry battery (produced in Japan).

Notes

- The battery life may be shorter depending on the operating condition, the surrounding temperature and battery type.
- The AVLS setting (see "Using the Menu") will be cancelled when you replace the battery.

House Current

You must purchase an AC power adaptor AC-E15L for Japan or AC-E15HG for other countries/regions to operate this unit using house current.

Remove the rechargeable battery if inserted. Attach the battery case and connect the AC power adaptor AC-E15L for Japan (not supplied) or AC-E15HG (not supplied) to the DC IN 1.5V jack of the battery case and to the wall outlet.

Do not use any other AC power adaptor.



Polarity of the plug

Specifications for AC-E15HG vary for each area. Check your local voltage and the polarity of the plug before purchasing.

Recording

You can record radio programs from the built-in radio, or record with the supplied microphone. In either case, use a new or fully charged battery.

Note

If the record-protect tab is broken, you cannot record on that side.

1 Insert a normal (TYPE I) tape.

To record on both sides

Insert the cassette with the side to be first recorded on as the FWD (forward) side*.

* Make sure that "FWD" is displayed. If not, press and hold **■** (stop) until "REV" changes to "FWD".

To record on one side only

Insert the cassette with the side to be recorded on as the REV (reverse) side**.

Make sure that "REV" is displayed. If not, press and hold **■ until "FWD" changes to "REV".

Note

When the cassette holder is opened, the direction of the tape will be automatically set to "FWD".

2 Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to REC/PB. Then press SET to select "**2x**" or none (normal speed).

Normal (no indication) (4.8cm/s): for optimum sound. Recommended for normal recordings.

2× (2.4cm/s): for double recording time (for example, 120 minutes using both sides of a 60-minute cassette). Suitable for recording conferences, dictations, etc. Not recommended for recording music.

3 Select a recording source:

To record with the microphone

Connect the supplied microphone to the MIC (PLUG IN POWER) jack.

To record from the radio

Tune in to the station you want to record (see "Listening to the Radio").

4 Slide REC.

“**REC**” appears in the display and recording starts after about 2 seconds.

If you have started recording from the FWD side, recording will switch to reverse side automatically at the end of the FWD side.

To stop recording

Press **■** (on the remote control, press **◀▶**(play) • **■**(stop) to stop recording).

To reduce noise while recording AM programs

Set the ISS (Interference Suppress Switch) to the position that reduces noise the most.

To monitor the recording sound


You can monitor the recording sound through headphones/earphones. Adjust monitoring level using VOL.

Note

You may hear some noise in the monitor sound in the RV, MB, or GRV mode (see “Using the Menu”), but this does not affect recording.

Notes on recording

- The recording level is fixed.
- Sound emphasis (RV, MB, or GRV) and AVLS settings do not affect recording.

- Actual recording will start about 2 seconds (3 seconds when “**2x**” is selected for recording time) after you slide REC. Slide REC about 2 seconds (3 seconds when “**2x**” is selected for recording time) before the moment you want to start recording, or you will miss the beginning of your recording.
- When recording on both sides, recording will not be made for about 10 seconds while the tape is switching sides.
- Do not use a high-position (TYPE II) or metal (TYPE IV) tape. If you do, the sound may be distorted when you play back the tape, or the previous recording may not be erased completely.
- Do not connect or disconnect the headphones/earphones to/from  while recording from the radio. The recording condition may change abruptly, or noise may be recorded.
- To avoid noise interference, do not place it near a lamp cord or a fluorescent lamp when recording with the microphone.
- If a howling effect occurs, turn down the volume.
- All other operation cannot be made while recording. For other operation, stop recording first.

To prevent a tape from being accidentally recorded over

Break off the tabs from side A and/or B. To reuse the tape for recording, cover the tab hole with adhesive tape.

Playing a Tape

- 1 Insert a cassette and if the HOLD function is on, slide the HOLD switch in the opposite direction of the arrow to unlock the controls.
- 2 Press MENU repeatedly to set “_” (the cursor) in the display to REC/PB. Then press SET to select “2x” or none (normal speed) which is the same position as that used for recording.

To playback commercially available music tape, etc., select normal (no indication).

- 3 Press ◀▶(play)•REPEAT on the main unit and adjust the volume with VOL. (On the remote control, press ◀▶•■.)

When adjusting the volume on the remote control

Set the VOL control on the main unit to around 6.

When adjusting the volume on the main unit

Set the VOL control on the remote control at maximum.

Operation on the remote control

To	Press
Switch playback to the other side	◀▶•■ for 2 seconds or more during playback
Stop playback	◀▶•■ once during playback

Operation on the main unit

To	Press
Switch playback to the other side	◀▶•REPEAT during playback
Stop playback	■ (stop)

Other tape operations

To	Press
Fast forward*	FF/CUE (FF + on the remote control) during stop
Rewind*	REW/REVIEW (REW – on the remote control) during stop
Search forward during playback (CUE)	Press and hold FF/CUE (FF + on the remote control) and release it at the point you want.

To	Press
Search backward during playback (REVIEW)	Press and hold REW/REVIEW (REW – on the remote control) and release it at the point you want.
Play the next track/ succeeding 9 tracks from the beginning (AMS**)	FF/CUE (FF + on the remote control) once/ repeatedly during playback
Play the current track/previous 8 tracks from the beginning (AMS**)	REW/REVIEW (REW – on the remote control) once/ repeatedly during playback
Play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	FF/CUE (FF + on the remote control) for 2 seconds or more during stop
Play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	REW/REVIEW (REW – on the remote control) for 2 seconds or more during stop

* Press ◀▶•■ on the remote control during fast forward or rewind to start playback.

**Automatic Music Sensor

A-B Repeat

A-B Repeat plays back repeatedly any portion of the tape you specified. Specify by tagging the beginning (point A) and the end (point B) of the portion during playback.

On the main unit

- 1 Press ◀▶•REPEAT for 2 seconds or more during playback to tag point A. “A-” will flash in the display of the main unit.
- 2 Press ◀▶•REPEAT again to tag point B. “A-B” will flash and the tape will move rapidly to point A. Then “REP” appears in the display and the specified portion is played repeatedly.

On the remote control

- 1 Press ◀▶•■ twice quickly during playback to tag point A.
- 2 Press ◀▶•■ once more to tag point B. The tape will be rewound to point A. Then the specified portion is played repeatedly.

To stop the A-B Repeat playback

Press ◀▶•REPEAT on the main unit.

On the remote control, press ◀▶•■.

To reset A-B Repeat

When you want to change a specific portion, stop the A-B Repeat playback and tag point A and point B again.

Notes

- You cannot specify a repeat portion that includes both sides of the tape.
- You cannot specify a repeat portion shorter than 2 seconds.
- After repeated operation, the actual portion that is played back may shift somewhat from the exact portion specified with the tags due to tape slack.
- A-B Repeat stops automatically after repeating 50 times.
- Do not use the A-B Repeat function with tapes longer than 90 minutes. If you do, the tape may be damaged.

Listening to the Radio

- 1** Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2** Press RADIO ON/BAND repeatedly to select AM or FM.
- 3** Press MENU on the main unit repeatedly and set the cursor in the display to TUNE MODE.

4 For manual tuning

- ①** Press SET to choose MANUAL.
- ②** Press TUNE/PRESET + or - repeatedly to tune in to the desired station. Hold down TUNE/PRESET + or - for a few seconds to scan for stations.

For preset tuning

- ①** Press SET to choose PRESET.
- ②** Press TUNE/PRESET + or - repeatedly to recall the desired preset station. To use preset tuning, preset stations first (see “Presetting Radio Stations”).

To turn off the radio

Press RADIO OFF.

To improve the broadcast reception

- **For AM:** Reorient the unit itself.
- **For FM:** Extend the remote control cord (antenna). If the reception is still not good, press MENU repeatedly to set the cursor in the display to FM MODE. Then press SET to choose from “MONO” (monaural), “LOCAL” or none (stereo) for best reception.

To operate from the remote control

To turn on the radio, press RADIO ON/BAND•OFF for more than 1 second (while the tape is in stop mode only).
To select the band, press RADIO ON/BAND•OFF for more than 1 second while the radio is on.
To tune in or recall a preset station, press FF + or REW -.
To turn off the radio, press RADIO ON/BAND•OFF.

Presetting Radio Stations

You can preset up to 30 stations—20 for FM and 10 for AM (for the JPn area*, up to 16 stations—8 for FM and 8 for AM).

* Only if available. See “Receiving Stations Outside Japan”.

Presetting Automatically Scanned Stations

- 1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2 Press RADIO ON/BAND repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press and hold ENTER for more than 3 seconds. Preset number 1 will flash in the display and the main unit

starts scanning the stations from the lower frequencies and stops for about 5 seconds when a station is received.

- 4 If you wish to preset the currently received station, press ENTER while the preset number is flashing. The received station is preset on preset number 1 and the unit starts scanning for the next receivable station.
- 5 Repeat step 4 until all receivable stations are preset.

To stop scanning

Press RADIO OFF. The radio is turned off at the same time.

Notes

- If stations are already stored, the newly preset stations replace the old ones when the above procedure is completed.
- If stations cannot be preset automatically, preset them manually.

Presetting Stations Manually

- 1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2 Press RADIO ON/BAND repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press ENTER. The frequency digits will flash in the display.

- 4 While the frequency digits are flashing, tune in to a station you wish to store using TUNE/PRESET + or - and press ENTER.

The preset number will flash in the display.

- 5 While the preset number is flashing, select the preset number you want using TUNE/PRESET + or -.
- 6 While the preset number is flashing, press ENTER.

Notes

- If you cannot complete step 4, 5 or 6 while the indicators are flashing, repeat from step 3.
- If a station is already stored, the new station replaces the old one.

To cancel a stored station

- 1 Follow the procedure of “Playing the Preset Radio Stations” and in step 5, select the preset number you want to cancel and then press ENTER. The frequency digits will flash in the display.
- 2 Press and hold TUNE/PRESET + or -. The frequency digit starts running up or down. Keep holding down the button until “- - - -” is displayed.
- 3 Press ENTER while “- - - -” is flashing. A preset number will flash in the display.

- 4 Press ENTER to cancel the stored station.

Playing the Preset Radio Stations

- 1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2 Press RADIO ON/BAND repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to TUNE MODE.
- 4 Then press SET to display “PRESET”.
- 5 Press TUNE/PRESET + or -.

Scanning the Preset Radio Stations

- 1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2 Press RADIO ON/BAND repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press and hold RADIO ON/BAND for 2 seconds or more. The preset stations of the selected band will be played for about 5 seconds each. (While scanning the preset radio stations, the indicators in the display flash.)
- 4 Press RADIO ON/BAND again to select the station while the desired preset station is being played.

Notes

- If there are no stations stored, this function does not work.
- Until a station is selected in step 4, this function turned on in step 3 will continue.

Receiving Stations Outside Japan

- 1 Press RADIO ON/BAND to turn on the radio.
- 2 Press ENTER.
The frequency digits will flash in the display.
- 3 Press and hold RADIO ON/BAND until "JPn", "USA" or "Eur" flashes.
- 4 Press RADIO ON/BAND repeatedly to select "JPn", "USA" or "Eur".
- 5 Press ENTER.
- 6 Tune in to and store stations as necessary following the procedure of "Listening to the Radio" and "Presetting Radio Stations".

Area indication and frequency range

Area*	Frequency range	
	FM (MHz)	AM (kHz)
JPn	76.0 - 90.0	531 - 1 710
USA	87.5 - 108	530 - 1 710
Eur	87.5 - 108	531 - 1 602

- * JPn: Japan
USA : USA, Canada, and Central and South America
Eur : European and other countries/regions

Using the Menu



To select playback direction mode

On the main unit:

Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to PB MODE. Then press SET to select the desired mode.

On the remote control:

Press MODE repeatedly. With each press, the indications change.

To play	Select
both sides repeatedly	
both sides once from the FWD side	

Emphasizing Sound

On the main unit:

- 1 Press MENU repeatedly to set the cursor in the display to SOUND.
- 2 Press SET repeatedly to select the sound emphasis of your choice.

On the remote control:

- 1 Press SOUND repeatedly. With each press, the indications change.

The indications change as follows:

- RV : Sound Revitalizer
Emphasizes treble sound.
- MB : Mega Bass
Emphasizes bass sound (moderate effect).
- GRV : Groove
Emphasizes bass sound (strong effect).
- no message : normal (no effect)

Note

If the sound is distorted with the mode "GRV", turn down the volume of the main unit or select other modes.

Protecting Your Hearing — AVLS (Automatic Volume Limiter System)

The maximum volume is kept down to protect your ears.

On the main unit:

Press MENU repeatedly in the playback, stop or radio mode to set the cursor in the display to AVLS. Then press SET to show "ON".

On the remote control:

Hold down MODE for more than 10 seconds until "AVLS" appears in the display.

To cancel the AVLS function

Press SET so that "ON" disappears from the display on the main unit. On the remote control, hold down MODE again for more than 3 seconds until "AVLS" disappears.

Using Other Functions

Adjust the Tape Playback Speed

You can adjust the playback speed using SPEED CONTROL.

Turn SPEED CONTROL to:

- (slow) to play back at a slower speed.

Center position to play back at normal speed.

+ (fast) to play back at a faster speed.

Note

The SPEED CONTROL works in the playback mode only.

Recording will be made independent of this control.

Locking the Controls — HOLD Function

Slide the HOLD switch in the direction of the arrow to lock the controls of the main unit (except SPEED CONTROL) or the remote control.

Using the Tape Counter

The tape counter is displayed on the main unit during playback, recording, fast forward, rewind, CUE, REVIEW and stop (except when the radio is turned on).

The number will increase when playing back the FWD side, and decrease when playing back the REV side. To reset the counter to "000", press ENTER/COUNTER RESET.

Notes

- The tape counter may show some deviation.
- The tape counter will not be displayed when the cassette compartment is empty.

주의점

“**2x**” 설정에서 녹음한 테이프는 이 기능이 없는 카세트 플레이어나 테이프 레코더에서 올바르게 재생할 수 없습니다.

- 본 제품의 환기구는 화재 방지를 위해서 신문이나 테이블 클로스, 커튼 등으로 막지 마십시오. 본 제품 위에는 촛불을 올려놓지 마십시오.
- 화재나 감전될 위험이 있으므로 물이 들어있는 꽃병 등은 본 제품 위에 올려놓지 마십시오.
- 일부 나라에서는 본 제품의 전원으로 사용하는 배터리의 처분 방법에 대해서 규제하고 있습니다. 현지 관할 기관으로 문의하여 주십시오.

준비

건전지(별매품)또는 충전식 배터리(부속품)를 준비합니다.

건전지

부속된 건전지 케이스를 부착한 다음 R6(AA 크기) 배터리 한 개를 극을 맞추어 넣습니다.

주의점

최대 성능을 위해서는 Sony 알칼라인 배터리(건지)를 사용할 것을 권합니다.

충전식 배터리

충전식 배터리는 처음 사용하기 전에 충전하여 주십시오.


- 1 부속된 충전식 배터리 NH-14WM(A)를 충전기에 극을 맞추어 넣습니다.
- 2 부속된 AC 전원 어댑터를 충전 스탠드에 연결하고 AC 전원 어댑터를 가정용 전원(주전원)에 연결합니다.
플러그가 주전선과 맞지 않을 때에는 부속된 AC 플러그 어댑터를 부착합니다.
- 3 본체를 충전 스탠드 위에 올려놓습니다.
CHG 램프가 점등됩니다.
만충전하려면 약 6시간 걸립니다.
배터리가 만충전되면 CHG 램프가 꺼집니다.

주의점

충전 중에는 본 기기를 사용하지 마십시오. 본 기기를 사용하려면 충전 스탠드에서 빼 주십시오.

- 충전 중에 본 기기를 사용하면 배터리가 충전되지 않습니다.
- 충전 중에 본 기기를 사용하면 고장의 원인이 됩니다.
- 충전식 배터리를 넣지 않은 상태에서 본 기기를 충전 스탠드에 올려놓지 마십시오. 그렇지 않으면 고장의 원인이 됩니다.

배터리 교체/충전 시기

“”가 표시화면에서 깜박이면 배터리를 교체하거나 충전합니다.

전지 수명*(약 시간)

Sony 알칼라인 LR6(SG)**

테이프 재생	44
라디오 수신	56
MIC(마이크)녹음	15
라디오 녹음	12

충전식 배터리 NH-14WM(A)

테이프 재생	26
라디오 수신	34
MIC(마이크)녹음	9
라디오 녹음	7

Sony 알칼라인 LR6(SG)** 및 충전식 NH-14WM(A)

테이프 재생	70
라디오 수신	90
MIC(마이크)녹음	24
라디오 녹음	19

* JEITA(Japan Electronics and Information Technology Industries Association)의 기준에 따라 측정한 값(Sony HF 시리즈 카세트 테이프 사용)

**LR6(SG) Sony STAMINA 알칼라인 건전지(일본산)를 사용할 경우

주의점

- 사용상태, 주위의 온도나 배터리의 종류에 따라서 배터리의 지속시간이 짧아지는 경우가 있습니다.
- 배터리를 교환하면 AVLS 설정은 취소됩니다(“메뉴 사용하기”를 참조).

가정용 전원

가정용 전원을 사용해서 본 제품을 조작하려면 일본용 AC 전원 어댑터 AC-E15L 또는 다른 나라/지역용 AC-E15HG를 구입하여 주십시오. 충전식 배터리가 들어 있으면 꺼내 주십시오. 배터리 케이스를 부착하고 배터리 케이스 DC IN 1.5V 단자와 콘센트에 일본용 AC 전원 어댑터 AC-E15L(별매품) 또는 AC-E15HG(별매품)를 접속합니다. 그 밖의 AC 전원 어댑터는 사용하지 마십시오.



플러그의 극성

AC-E15HG 사양은 지역에 따라 다릅니다. 사용 지역의 전압과 플러그의 극성을 확인하신 후에 구입하여 주십시오.

녹음하기

내장 라디오에서 라디오 프로그램을 녹음하거나 또는 부속된 마이크를 사용해서 녹음할 수 있습니다. 녹음할 때에는 새 배터리나 만충전된 배터리를 사용하십시오.

주의점

녹음 보호 탭을 제거했을 때에는 그 면에는 녹음을 할 수 없습니다.

1 통상(TYPE I) 테이프를 넣으십시오.

양면에 녹음하려면

먼저 녹음하고 싶은 면을 FWD(정방향)*으로 하여 카세트를 넣으십시오.

*“FWD”가 표시되는지 확인하십시오. 표시되지 않으면, “REV”가 “FWD”로 바뀔 때까지 ■(정지)를 계속 누릅니다.

한 쪽 면에만 녹음하려면

녹음하고 싶은 면을 REV(역방향)**으로 하여 카세트를 넣으십시오.

**“REV”가 표시되는지 확인하십시오. 표시되지 않으면, “FWD”가 “REV”로 바뀔 때까지 ■를 계속 누릅니다.

주의점

카세트 홀더를 열면 테이프의 방향은 자동으로 “FWD” 방향이 됩니다.

2 MENU를 반복해서 눌러서 표시창의 커서를 REC/PB로 설정합니다. 다음에 SET을 눌러서 “2x” 또는 없음(통상 속도)을 선택합니다.

통상(표시 없음)(4.8cm/s): 고음질 통상 녹음으로 권장합니다.

2x(2.4cm/s): 녹음 시간이 2배(예를 들면 60분 테이프 양면을 사용해서 120분). 회의 녹음이나 구술용 등에 적절합니다. 음악 녹음용으로는 권장하지 않습니다.

3 녹음원을 선택합니다:

마이크를 이용하여 녹음하려면

부속된 마이크를 MIC(PLUG IN POWER) 잭에 연결합니다.

그림에 보이는 예처럼 마이크를 사용자의 옷에 부착할 수 있습니다.

라디오로부터 녹음하려면

녹음하고 싶은 방송국을 선국합니다(“라디오 듣기”를 참조).

4 REC를 밟니다.

“REC”가 표시화면에 나타나고 약 2초 후에 녹음이 시작됩니다.

FWD(정방향) 쪽부터 녹음을 시작했을 때에는 FWD의 마지막 부분에서 자동으로 역방향 쪽으로 전환되고 녹음이 계속됩니다.

녹음을 정지하려면

■를 누릅니다(리모컨에서는 ◀▶(재생)•■(정지)를 눌러 녹음을 정지합니다).

AM 프로그램을 녹음하는 동안 잡음을 감소시키려면

ISS(Interference Suppress Switch: 간섭 억제 스위치)를 잡음을 최대한으로 감소시키는 위치에 놓습니다.


녹음되는 음을 모니터하려면

헤드폰/이어폰을 통해 녹음되는 음의 상태를 모니터할 수 있습니다. VOL을 사용하여 모니터 레벨을 조정합니다.

주의점

RV, MB나 GRV 모드(“메뉴 사용하기”를 참조)에서 모니터 음에 일부 잡음이 들릴 수 있지만, 이것은 녹음에 영향을 미치지 않습니다.

녹음에 대한 주의사항

- 녹음 레벨이 고정되어 있습니다.
- 음 강조(RV, MB, 또는 GRV) 및 AVLS 설정은 녹음에 영향을 미치지 않습니다.
- 실제 녹음은 REC 버튼을 민 약 2초(녹음 시간에 “2x”를 선택했을 때에는 3초) 후에 시작됩니다. 녹음을 시작하고 싶은 위치의 약 2초(녹음 시간에 “2x”를 선택했을 때에는 3초) 전에 REC 버튼을 밀지 않으면 첫부분은 녹음할 수 없습니다.
- 양면을 녹음할 때는 테이프가 다른 면으로 전환되는 약 10초 동안 녹음이 되지 않을 것입니다.
- 하이포지션(크롬)(TYPE II) 테이프나 금속(TYPE IV) 테이프를 사용하지 마십시오. 사용하게 되면, 테이프를 재생할 때 소리가 일그러지거나 이전에 녹음한 것이 완전히 지워지지 않을 수 있습니다.
- 라디오로부터 녹음하는 동안 헤드폰/이어폰을 에서 연결하거나 빼지 마십시오. 녹음 상태가 갑자기 바뀌거나 잡음이 녹음될 수 있습니다.
- 잡음 간섭을 피하려면, 마이크로 녹음시 램프 코드나 형광등 램프 가까이에 두지 마십시오.
- 굉음이 나면, 음량을 낮추십시오.
- 녹음하는 동안에는 모든 다른 작동들이 이뤄지지 않습니다. 다른 작동을 하려면 우선 녹음을 정지하도록 하십시오.

실수로 테이프의 내용을 소거하는 것을 방지하려면

A면 및 또는 B면에서 탭을 떼어내십시오. 테이프를 녹음에 재사용하려면 탭 구멍을 집착 테이프로 씌웁니다.

테이프 재생하기

1 카세트를 넣고 HOLD 기능이 꺼져 있을 때에는 HOLD 스위치를 화살표 반대 방향으로 밀어서 컨트롤 스위치류의 잠금을 해제합니다.

2 MENU를 반복해서 눌러서 표시창의 “_” (커서)를 REC/PB로 설정합니다. 다음에 SET을 눌러서 “2x” 또는 녹음용으로 사용하고 싶은 위치인 없음(통상 속도)을 선택합니다.

시판용 음악 테이프 등을 재생하려면 통상(표시 없음)을 선택합니다.

3 본체에서 ◀▶(재생)•REPEAT를 누르고 VOL로 음량을 조절합니다. (리모컨에서는 ◀▶•■를 누릅니다.)

리모컨에서 음량을 조절할 경우

본체의 VOL 컨트롤을 6정도로 설정해 놓습니다.

본체에서 음량을 조절할 경우

리모컨의 VOL 컨트롤을 최대로 설정해 놓습니다.

리모컨에서의 조작

목적	누르는 버튼
반대면의 재생으로 전환	재생 중 ◀▶•■를 2초 이상 누른다.
재생 정지	재생 중 ◀▶•■를 한 번 누른다.

본체에서의 조작

목적	누르는 버튼
반대면의 재생으로 전환	재생 중 ◀▶•REPEAT를 누른다.
재생 정지	■(정지)를 누른다.

그 밖의 테이프 조작

목적	누르는 버튼
고속감기*	정지 중 FF/CUE (리모컨의 FF +)를 누른다.
되감기*	정지 중 REW/REVIEW(리모컨의 REW -)를 누른다.
재생 중에 앞방향으로 검색(CUE)	FF/CUE (리모컨의 FF +)를 눌렀다가 원하는 위치에서 놓는다.

목적	누르는 버튼
재생 중에 뒷방향으로 검색 (REVIEW)	REW/REVIEW (리모컨의 REW-)를 눌렀다가 원하는 위치에서 놓는다.
다음 트랙 재생/ 처음부터 9트랙을 연속 재생 (AMS**)	재생중 FF/CUE (리모컨의 FF +) 를 한번/반복하여 누른다.
다음 트랙 재생/ 처음부터 8트랙을 연속 재생 (AMS**)	재생중 REW/ REVIEW(리모컨 의 REW -)를 한 번/반복하여 누른 다.
처음부터 반대 면을 재생 (스킵 리버스 기능)	정지중 FF/CUE (리모컨의 FF +) 를 2초 이상 누른 다.
처음부터 같은 면을 재생 (자동 되감기 재생 기능)	정지중 REW/ REVIEW(리모컨 의 REW -)를 2초 이상 누른다.

* 고속감기 또는 고속되감기 중에 재생을 시작하려면 리모컨의 ◀▶•■를 눌러 주십시오.

**Automatic Music Sensor(자동 음악 센서)

A-B 반복

A-B 반복은 테이프의 지정 부분을 반복해서 재생합니다. 재생 중에 첫 부분(A 위치)와 끝부분(B 위치)에 표시를 해서 재생하고 싶은 부분을 지정합니다.

본체에서

- 1 재생중 ◀▶•REPEAT를 2초 이상 눌러 A 위치를 표시합니다. 본체의 표시 화면에 “A-”가 깜박입니다.
- 2 ◀▶•REPEAT를 다시 한 번 눌러 B 위치를 표시합니다. “A-B”가 깜박이고 테이프가 A 위치로 되감깁니다. 다음에 표시 화면에 “REP”가 나타나고 지정된 부분이 반복 재생됩니다.

리모컨에서

- 1 재생 중에 ◀▶•■를 두 번 신속히 눌러서 A 위치를 표시합니다.
- 2 ◀▶•■를 다시 한 번 눌러서 B 위치를 표시합니다. 테이프가 A 위치까지 되감깁니다. 다음에 지정된 부분이 반복 재생됩니다.

A-B 반복 재생을 중지하려면

본체에서는 ◀▶•REPEAT를 누릅니다.

리모컨에서는 ◀▶•■를 누릅니다.

A-B 반복 재생을 재설정하려면

지정한 위치를 변경하고 싶을 때에는 A-B 반복 재생을 중지하고 위치 A와 위치 B를 다시 한 번 지정하여 주십시오.

주의점

- 테이프의 양면에 걸쳐서 반복 위치를 지정할 수 없습니다.
- 2초 미만의 반복 지정은 할 수 없습니다.
- 여러 번 조작하면 실제 재생되는 부분은 테이프의 늘어짐에 의해서 표시해 놓은 정확한 위치에서 약간 어긋나는 경우가 있습니다.
- A-B 반복 재생은 50회 반복 재생 후 자동 정지됩니다.
- 90분을 초과하는 테이프에서는 A-B 반복 기능을 사용하지 마십시오. 그렇지 않으면 테이프가 손상될 염려가 있습니다.

라디오 듣기

- 1 RADIO ON/BAND를 눌러 라디오를 켭니다.
- 2 RADIO ON/BAND를 반복해서 눌러 AM이나 FM를 선택합니다.
- 3 본체에서 MENU를 반복해서 누르고 본체의 표시화면에 커서를 TUNE MODE로 맞춥니다.

4 수동 튜닝

- ① SET를 눌러 MANUAL을 선택합니다.
- ② TUNE/PRESET + 또는 -를 반복해서 눌러 원하는 방송국을 맞춥니다.
TUNE/PRESET + 또는 -를 몇 초간 눌러 방송국을 검색합니다.

사전설정 튜닝

- ① SET를 눌러 PRESET를 선택합니다.
- ② TUNE/PRESET + 또는 -를 반복해서 눌러 원하는 사전설정 방송국을 호출합니다.
사전설정 튜닝을 사용하려면 우선 방송국을 사전설정하십시오(“라디오 방송국 사전설정하기”를 참조).

라디오를 끄려면

RADIO OFF를 누릅니다.

방송 수신을 좋게 하려면

- **AM**: 본체의 방향을 변경하여 주십시오.
- **FM**: 리모컨 코드(안테나)를 길게 연장합니다. 그래도 잘 들리지 않을 때에는 MENU를 반복해서 눌러서 표시창에서 커서를 FM MODE로 설정하여 주십시오. 다음에 SET을 눌러서 “MONO”(모노럴) 또는 “LOCAL” 없음(스테레오) 중에서 잘 들리는 쪽을 선택하여 주십시오.

리모컨에서 작동하려면

라디오를 켜려면 RADIO ON/
BAND •OFF를 1초 이상 누릅니다
(테이프가 정지 모드에 있는 동안).
주파수대를 선택하려면 라디오가 켜
져 있을 때에 RADIO ON/BAND•
OFF를 1초 이상 눌러 주십시오.
사전설정 방송국을 맞추거나 호출하
려면, FF + 또는 REW -를 누릅니다.
라디오를 끄려면 RADIO ON/
BAND•OFF를 누릅니다.

라디오 방송국 사전설정 하기

30개 방송국-FM 20개 방송국과
AM 10개 방송국(JPn지역*에서는
16개 방송국-FM 8개 방송국과 AM
8개 방송국)을 사전 설정할 수 있습
니다.

* 이용 가능한 경우 “일본 국외 방송국
수신하기” 참조

자동으로 선국한 방송국 사전설 정하기

- 1 RADIO ON/BAND를 눌러서
라디오 전원을 켭니다.
- 2 RADIO ON/BAND를 반복해
서 눌러서 AM 또는 FM을 선택합
니다.
- 3 ENTER를 3초 이상 누릅니다.
표시창에서 사전설정 번호 1이 점
멸하고 본 제품은 낮은 주파수부
터 방송국의 선국을 시작하고 방
송국을 수신하면 약 5초 동안 중지
됩니다.

- 4 현재 수신한 방송국을 사전설정하
고 싶을 때에는 사전설정 번호가
점멸하고 있는 동안에 ENTER를
누릅니다.

수신한 방송국이 사전설정 번호 1
에 사전설정되고 본 제품은 다음
에 수신할 수 있는 방송국의 선국
을 시작합니다.

- 5 수신 가능한 모든 방송국을 사전
설정할 때까지 순서 4을 반복 조작
합니다.

수신을 중지하려면

RADIO OFF를 누릅니다. 동시에
라디오가 꺼집니다.

주의점

- 방송국이 이미 기억되어 있을 때에는
상기 순서를 종료했을 때 이전의 방송
국이 새로 사전설정된 방송국으로 변
경됩니다.
- 방송국을 자동으로 사전설정할 수 없
을 때에는 수동 조작으로 사전설정하
여 주십시오.

방송국을 수동 조작으로 사전설 정하기

- 1 RADIO ON/BAND를 눌러서
라디오 전원을 켭니다.
- 2 RADIO ON/BAND를 반복해
서 눌러서 AM 또는 FM을 선택합
니다.
- 3 ENTER를 누릅니다.
표시창에서 주파수 숫자가 점멸합
니다.

- 주파수 숫자가 점멸하고 있는 동안에 TUNE/PRESET + 또는 -를 사용해서 기억시켜 놓고 싶은 방송국에 맞춘 후 ENTER를 누릅니다.

표시창에서 사전설정 번호가 점멸합니다.

- 사전설정 번호가 점멸하고 있는 동안 TUNE/PRESET + 또는 -를 사용해서 원하는 사전설정 번호를 선택합니다.
- 사전설정 번호가 점멸하고 있는 동안 ENTER를 누릅니다.

주의점

- 표시가 점멸하고 있는 동안에 순서 4, 5 또는 순서 6를 종료하지 못했을 때에는 순서 3부터 다시 조작하여 주십시오.
- 방송국이 이미 기억되어 있을 때에는 이전 방송국이 새 방송국으로 변경됩니다.

기억시킨 방송국을 취소하려면

- “사전설정한 라디오 방송국 듣기”와 순서 5의 조작에 따라 취소하고 싶은 사전설정 번호를 선택한 후 ENTER를 누릅니다.
- TUNE/PRESET + 또는 -를 누르고 있습니다. 주파수 숫자가 커지거나 작아지기 시작합니다. “---”가 표시될 때까지 버튼을 눌러 주십시오.
- “---”가 점멸하고 있는 동안 ENTER를 누릅니다. 표시창에서 사전설정 번호가 점멸합니다.
- 기억시킨 방송국을 취소하려면 ENTER를 누릅니다.

사전설정한 라디오 방송국 듣기

- RADIO ON/BAND를 눌러서 라디오 전원을 켭니다.
- RADIO ON/BAND를 반복해서 눌러서 AM 또는 FM을 선택합니다.
- MENU를 반복해서 눌러서 표시창의 커서를 TUNE MODE로 설정합니다.
- 다음에 SET을 눌러서 “PRESET”를 표시합니다.
- TUNE/PRESET + 또는 -를 누릅니다.

사전설정한 라디오 방송국 선택하기 — DAPS

- RADIO ON/BAND를 눌러서 라디오 전원을 켭니다.
- RADIO ON/BAND를 반복해서 눌러서 AM 또는 FM을 선택합니다.
- RADIO ON/BAND를 2초 이상 누릅니다.
선택한 밴드의 사전설정 방송국이 각각 약 5초 동안 재생됩니다.
(사전설정한 라디오 방송국을 선택하는 동안 표시창의 표시는 점멸합니다.)
- 원하는 사전설정 방송국을 재생하고 있는 동안 RADIO ON/BAND를 다시 한 번 눌러서 방송국을 선택합니다.

주의점

- 기억시킨 방송국이 없을 때에는 이 기능은 작동하지 않습니다.
- 순서 3에서 작동한 이 기능은 순서 4에서 방송국을 선택할 때까지 작동합니다.

일본 국외 방송국 수신하기

- 1 RADIO ON/BAND를 눌러 라디오를 켭니다.
- 2 ENTER를 누릅니다.
주파수 숫자가 표시화면에서 깜박입니다.
- 3 “JPn” 또는 “USA”, “Eur”가 점멸할 때까지 RADIO ON/BAND를 누르고 있습니다.
- 4 RADIO ON/BAND를 반복해서 눌러서 “JPn”나 “USA” 또는 “Eur”를 선택합니다.
- 5 ENTER를 누릅니다.
- 6 “라디오 듣기” 및 “라디오 방송국 사전설정하기” 절차를 따라 필요에 따라 방송국을 맞추고 저장합니다.

지역 표시 및 주파수 범위

지역*	주파수 범위
	FM(MHz) AM(kHz)
JPn	76.0 ~ 90.0 531 ~ 1 710
USA	87.5 ~ 108 530 ~ 1 710
Eur	87.5 ~ 108 531 ~ 1 602

* JPn : 일본

USA : 미국, 캐나다, 중미 및 남미

Eur : 유럽 및 기타 국가/지역

메뉴 사용하기

재생 모드 조정하기

본체에서:

MENU를 반복해서 눌러 표시화면에서 커서를 PB MODE로 설정합니다. 그런 다음 SET를 눌러 원하는 모드를 선택합니다.

리모컨에서:

MODE를 반복해서 누릅니다. 누를 때마다 표시가 바뀝니다.

재생하려면

선택

양면 반복



FWD면에서 양면을 한 번씩



음질을 강조하기

본체에서:

- 1 MENU를 반복해서 눌러 표시화면에서 커서를 SOUND로 이동합니다.
- 2 SET를 반복해서 눌러 원하는 음강조를 선택합니다.

리모컨에서:

- 1 SOUND를 반복해서 누릅니다.
누를 때마다 표시가 바뀝니다.

표시는 다음과 같이 바뀝니다:

RV : Sound Revitalizer

(음향 재생기)

고음을 강조

MB : Mega Bass

저음을 강조(일반 효과)

GRV : Groove

저음을 강조(강한 효과)

아무 메시지 없음 : 정상(무효과)

주의점

“GRV” 모드에서 사운드가 왜곡될 때에는 본체의 음량을 줄이거나 다른 모드를 선택하십시오.

청각 보호하기 — AVLS (Automatic Volume Limiter System)

청력을 보호하기 위하여 최대 음량을 낮게 억제합니다.

본체에서:

재생 중에 또는 정지 중에 라디오 모드에서 MENU를 반복해서 눌러서 표시창의 커서를 AVLS로 설정합니다. 다음에 SET을 눌러서 “ON”를 표시합니다.

리모컨에서:

표시창에 “AVLS”가 나타날 때까지 MODE를 10초 이상 누릅니다.

AVLS 기능을 취소하려면

SET을 눌러서 본체 표시창의 “ON”를 지웁니다.

리모컨에서는 “AVLS”가 지워질 때까지 MODE를 다시 한 번 3초 이상 누릅니다.

다른 기능 사용하기

테이프 재생 속도 조절하기

SPEED CONTROL을 사용해서 재생 속도를 조절할 수 있습니다.

SPEED CONTROL을 다음과 같은 위치로 돌립니다:

- (저속) 저속으로 재생합니다.

중양은 통상 속도로 재생합니다.

+ (고속) 고속으로 재생합니다.

주의점

SPEED CONTROL 스위치는 재생 중에만 작동합니다. 녹음은 이 속도의 설정과 관계없습니다.

컨트롤을 잠그려면

— HOLD 기능

HOLD 스위치를 화살표 방향으로 밀어서 본체(SPEED CONTROL은 제외) 또는 리모컨의 컨트롤 스위치류를 잠가 놓습니다.

테이프 카운터를 사용하려면

테이프 카운터는 재생, 녹음, 빨리 감기, 되감기, CUE, REVIEW 및 정지 동안(라디오가 켜져 있는 경우 제외) 본체상에 화면에 표시됩니다. FWD(정방향) 쪽을 재생할 때는 숫자가 증가하며, REV(역방향) 쪽을 재생할 때는 감소합니다. 카운터를 “000”으로 재설정하려면 ENTER/COUNTER RESET를 누릅니다.

주의점

- 테이프 카운터는 약간의 오차가 생길 수 있습니다.
- 카세트실이 비어있으면 테이프 카운터는 표시되지 않습니다.

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ……………  0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX …………… 0466-31-2595

受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

<http://www.sony.net/>

Printed in China